

行政会議次第

令和4年4月11日
政策会議室
各執務室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 報告事項

総務局 ・令和3年度事務処理ミス発生状況について
・被災自治体への職員派遣について
・さいたま市国土強靱化地域計画等の改定について
・自然災害に係るさいたま市事業継続計画の改定について
・さいたま市防災アプリについて

財政局 ・令和4年度予算執行に関する運用方針について

保健福祉局 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業について

教育委員会事務局 ・コミュニティ・スクールの全校実施について

4 そ の 他

5 閉 会

行政会議発言要旨

◎市長あいさつ

ここから見える顔ぶれも変わり、令和4年度がスタートしたことを改めて感じます。新たにメンバーに加わった皆さん、引き続きの皆さん、それぞれの部門のリーダーとして、遺憾なく力を発揮していただきたいと思いません。

昨年度、本市は市制スタートから20周年という大きな節目を迎え、今年度から新たなステージへと踏み出しました。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息の見通しが立たないなか、令和12年頃には、いよいよ人口減少の局面が到来すると予測されており、本市が将来も持続的に成長・発展するために、各局区においては、この20年間で培った本市の個性や強みに磨きをかけ、都市としての成熟を深めていくことが必要不可欠です。

局長級の辞令交付の際にもお伝えしましたが、皆さんには、三つの「管理」において、そのリーダーシップやマネジメントを発揮していただきたいと思えます。

一つ目の事業管理については、新たな総合振興計画はもとより、各局区の組織目標に掲げられた事業の進捗について、確実な管理をお願いします。

二つ目の職員管理については、職員の働き方を常に意識し、効率的で効果的な仕事の進め方について、しっかりとしたマネジメントをお願いします。

三つ目の危機管理については、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、新たな組織体制においても、不測の事態に直面した際の危機管理体制を整えておくこと、このことを常に留意していただきたいと思えます。さて、先月21日をもって「まん延防止等重点措置」が解除されました。

しかしながら、全国的に「オミクロン株のBA.2系統」への置き換わりが急速に進んでおり、本市の新型コロナウイルス新規陽性者数もゆるやかな減少傾向がみられていた状況から増加傾向に転じ、感染の再拡大が懸念される所です。

各局区においては、市民の方に基本的な感染予防対策の徹底に加え、感染リスクが高まる場面には十分に注意していただくよう周知をお願いします。また、「職員感染予防ガイドライン」に基づき、引き続き、組織としての基本的な感染予防対策に加え、職員一人ひとりが高い意識を持って、感染拡大防止に取り組むようお願いいたします。

◎報告事項

[総務局]

●令和3年度事務処理ミス発生状況について(法務・コンプライアンス課)

令和3年度の事務処理ミスの発生件数は、126件となり、令和2年度と比較すると10件、約8.6%増加しています。

特に年度当初の事務処理ミスが多発しており、その要因として事務の引継ぎ不足が考えられます。

各局区においては、事務の引継ぎや点検を的確に行い、組織体制の強化、適正な事務執行に向け取り組んでください。

●被災自治体への職員派遣について(防災課)

近年、全国的に災害による大きな被害が発生し、令和元年には本市からも被災自治体へ応援職員を派遣いたしました。

災害発生時の他自治体への応援職員派遣については、全国的な支援の枠組みとして、総務省の応急対策職員派遣制度等により、支援する自治体を決定、被災自治体のニーズに応じて応援職員を派遣することとなっています。

大規模災害時には、必要に応じて各局・区から応援職員を募り、速やかに応援職員を派遣することとなりますので、引き続きご協力をお願いします。

●さいたま市国土強靱化地域計画等の改定について(防災課)

本市では、今後も発生が予想される様々な災害に対して、自助・共助・公助の精神で一体となって地域強靱化に取り組むため平成 29 年度に「さいたま市国土強靱化地域計画」及び「アクションプラン」を策定しました。本計画等が令和 4 年度をもって満了となるため、国土強靱化基本計画や埼玉県地域強靱化計画の内容等を踏まえ改定を行います。

なお、本計画等の改定にあたっては、さいたま市防災対策庁内検討委員会を開催し、全庁部署へ意見照会を行いつつ、作業を進めていくことを予定していますので、各局においては、ご協力をお願いします。

●自然災害に係るさいたま市事業継続計画の改定について(防災課)

本市では、「さいたま市直下地震」の想定の下、市民生活に密接に関係する通常業務を継続・早期再開するための手順等を取りまとめた計画として、平成 31 年 3 月にさいたま市事業継続計画【地震災害編】を策定しました。

本計画について、近年、毎年のように豪雨災害による被害が発生している現状を踏まえ、今年度、風水害に対する想定を追加した内容で改定を行います。

なお、本計画等の改定にあたっては、国土強靱化地域計画と同様、庁内検討委員会を開催し、作業を進めていくことを予定していますので、各局においては、ご協力をお願いします。

●さいたま市防災アプリについて(防災課)

令和 4 年 4 月 1 日から「さいたま市防災アプリ」の配信がスタートいたしました。

近年、頻発、激甚化する災害に備え、普及の進んだスマートフォンを活用し、より多くの方に防災情報を伝達する手段として、防災アプリの構築を行いました。

大規模災害の備えとして、より多くの方に手にしていただきたいことから、各局・区においては、イベントなどを活用して普及啓発にご協力をお願いします。

[財政局]

●令和 4 年度予算執行に関する運用方針について(財政課)

先日、令和 4 年度予算執行に関する運用方針について各局・区長宛て通知しました。

令和 4 年度予算の執行に当たっては、総合振興計画を着実に推進することはもとより、全ての事務事業について、目標達成に向けて計画的かつ効率的な執行をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染症を始めとする社会経済情勢等の変化への対応については、執行段階においても引き続き、市民の命や生活を守ることを最優先に、機動的かつ弾力的な対応に努めていただくようお願いいたします。

また、DXの推進によるデジタルファーストな行政運営への転換を図るなど、行政経費の節減に向けた事業の実施手法の見直しについても、不断の努力をお願いします。

投資的経費については、繰越し等の措置とならないよう早期発注・早期完成に努めるとともに、国の大型経済対策等に速やかに対応できるよう、予め準備をお願いします。

[保健福祉局]

●新型コロナウイルスワクチン接種事業について(新型コロナウイルスワクチン対策室)

新型コロナウイルスワクチンの 3 回目接種については、2 回目接種から 6 か月を経過した 18 歳以上の方を対象としてきましたが、4 月から 12 歳以上 17 歳以下の方も対象となりました。

接種券は、2 回目接種から 6 か月を経過したら届くよう毎週火曜日に順次発送し、届き次第、予約手続きが可能です。また、接種は市内の一部個別接種実施医療機関で実施しますが、4 月 27 日から 5 月 8 日までは、12 歳以上 17 歳以下の方専用の集団接種会場を、浦和コルソに開設して対応します。

職員の皆さんにおいては、区役所等の窓口における相談・予約支援などの対応について、引き続きよろしく

お願いします。依然としてオミクロン株による感染者が多い状況です。職員についても、ワクチンの種類に関わらず、早く打てるワクチンでの接種をご検討いただくようお願いします。

〔教育委員会事務局〕

●コミュニティ・スクールの全校実施について(生涯学習振興課)

本年度から、コミュニティ・スクールを全校で実施し、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有して連携・協働する「地域とともにある学校づくり」を一層推進していきます。

本市はこれまでも「スクールサポートネットワーク」等において、地域の教育力を生かした教育活動を充実させてきましたが、学校と地域が一層の連携・協働を図ることが重要と考えています。

今後は、コミュニティ・スクール推進について市民等への積極的な広報活動を図るとともに、市長部局との連携をより緊密にし、「学校を核とした地域づくり」をも推し進め、地域コミュニティの活性化を図っていきますので、ご協力をお願いします。

◎その他

〔市長〕

さいたま市防災アプリですが、大変扱いやすいアプリとなっています。いつ起きるか分からない災害に備えるため、職員自身が積極的にアプリを登録しアプリを活用するとともに、各局区において様々な機会を通して市民の方への周知をお願いします。

〔市長公室長〕

市長との打合せ時の資料については、ペーパーレス化を一層推進していくため、電子資料を用いるよう、徹底をお願いします。

〔総務局長〕

新しい年度を迎え、新たな職場環境で、新たな仲間との業務がスタートしています。「挨拶の励行」については、かねてより通知等でお知らせして参りましたが、日頃から挨拶の励行に積極的に取り組み、良好なコミュニケーションを図ることが風通しの良い職場風土を醸成し、組織の適正な管理につながります。

新たに配属された職員がいち早く職場に馴染み、本来の力を発揮していただくためには、管理職の職員をはじめ、先輩職員が自ら範を示し、風通しの良い職場環境づくりを進める必要があります。

新年度に際し、皆様には、あらためて挨拶の重要性を認識していただき、組織全体で挨拶の励行に積極的に取り組むよう、所属職員への周知徹底をお願いします。

◎次回の行政会議

次回、令和4年度第2回は、令和4年5月9日(月)午前10時です。

令和4年度 第1回 行政会議



- 令和3年度について事務処理ミス発生状況について
- 被災自治体への職員派遣について
- さいたま市国土強靱化地域計画等の改定について
- 自然災害に係るさいたま市事業継続計画の改定について
- さいたま市防災アプリについて
- 令和4年度予算執行に関する運用方針について
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
- コミュニティ・スクールの全校実施について

令和4年4月11日(月)

【総務局】被災自治体への職員派遣について

大規模災害が発生し、被災都道府県内だけでは対応が困難である場合、「**応急対策職員派遣制度**（旧 被災市区町村応援職員確保システム）」等により、被災市区町村への職員派遣による支援を実施します。

応急対策職員派遣制度(総務省) 概要

<ul style="list-style-type: none"> ①災害マネジメントの総括的な支援 被災自治体の長を支援する「総括支援チーム」 ②災害対応業務の支援 避難所運営、罹災証明書交付・被害認定調査等 	応援職員を派遣
令和元年房総半島台風 派遣実績	
南房総市	総括支援チーム [7日間/延べ 21名] 住家被害認定 [22日間/延べ128名]
館山市	災害廃棄物収集運搬 [5日間/延べ 35名]

被災自治体のニーズに応じて、庁内に応援職員派遣の協力を要請します。

【総務局】 令和3年度事務処理ミス発生状況

令和2年度及び令和3年度 月別 事務処理ミス発生件数の状況 (一括公表及び個別公表)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
R2(累計)	6	17	29	43	51	61	69	74	81	90	103	116	9.7
R3(累計)	19	30	42	50	57	64	74	78	87	99	110	126	10.5



■前年度との比較

- ▶ 令和3年度の事務処理ミス発生件数は、126件
- ▶ 月平均では、10.5件の事務処理ミスが発生
- ▶ 令和2年度の事務処理ミス発生件数は、116件
- ▶ **前年度比では、10件(8.6%)の増加**

年度当初の事務処理ミスが多発しています。
事務の引継ぎや点検を的確に行い、組織的なチェック体制の強化を！

【総務局】さいたま市国土強靱化地域計画等の改定について

○平成29年度に策定した「さいたま市国土強靱化地域計画」及び「さいたま市国土強靱化地域計画アクションプラン」について、令和4年度をもって計画期間が満了となるため、改定を行います。

○本計画等の改定にあたっては、**さいたま市防災対策庁内検討委員会***を開催し、**全庁部署へ意見照会を行いつつ、作業を進めてまいります**ので、御協力を宜しくお願いいたします。

※危機管理補助者を構成員とする検討委員会

【令和4年度改定スケジュール(予定)】

4・5・6月	7・8・9月	10・11・12月	1・2・3月
○1回委員会	○2回委員会	○3回委員会	○4回委員会
		□ 12月議会報告	□ パブコメ □ 計画等の改定

【総務局】 自然災害に係るさいたま市事業 継続計画の改定について

○平成31年3月に改定した「さいたま市事業継続計画(地震災害編)」について、近年、毎年のように豪雨災害による被害が発生している現状を踏まえ、風水害に対する想定を追加した内容で改定を行います。

○本計画等の改定にあたっては、**さいたま市防災対策庁内検討委員会※を開催し、全庁部署へ意見照会を行いつつ、作業を進めてまいりますので、御協力を宜しくお願いいたします。**

※危機管理補助者を構成員とする検討委員会

【令和4年度改定スケジュール(予定)】

4・5・6月	7・8・9月	10・11・12月	1・2・3月
○1回委員会	○2回委員会	○3回委員会	○4回委員会

【財政局】

予算の執行について

- 令和4年度予算執行に関する運用方針を发出了しました。
 - 予算執行に当たっては、総合振興計画を着実に推進することはもとより、全ての事務事業について目標達成に向けて常に目標意識を持ち、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう、計画的かつ効率的な予算執行に努めること
 - 新型コロナウイルス感染症を始めとする社会経済情勢等の変化への対応については、市民の命や生活を守ることを最優先に、国・県の動向等に十分留意し、機動的かつ弾力的な対応に努めること
 - 全ての事業について、これまでの事業手法を前提とせず、DXの推進によるデジタルファーストな行政運営への転換、公民連携手法の活用による業務の効率化などにより、事業の実施手法の見直しを図ること
 - 投資的経費については、繰越し等の措置とならないよう早期発注・早期完成に努めるとともに、国の大型経済対策等に速やかに対応できるよう、予め準備しておくこと

【総務局】さいたま市防災アプリについて

令和4年4月1日 さいたま市防災アプリ 配信開始

近年、頻発、激甚化する災害に備え、普及の進んだスマートフォンを活用し、より多くの方に防災情報を伝達する手段として、防災アプリの構築を行いました。



主な機能

洪水・内水ハザードマップ
情報のプッシュ通知
防災行政無線の確認
避難所開設状況
避難経路案内
安否確認
電子版防災ガイドブック
マイ・タイムライン作成
各種ライフライン情報集約 等

各局・区において
は、イベントなどを
活用して普及啓発に
ご協力をお願いいた
します。

【保健福祉局】新型コロナウイルス ワクチン接種事業について

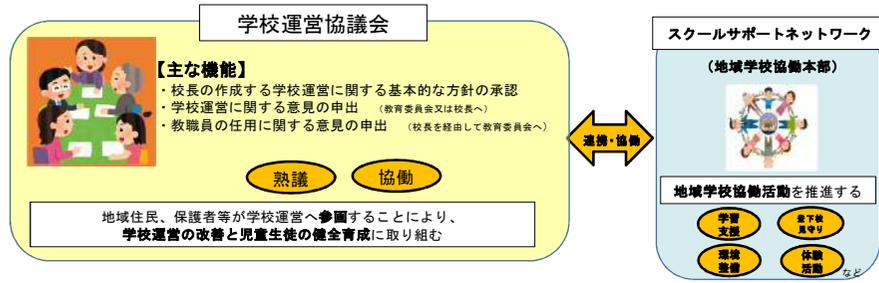
◎12歳～17歳への3回目接種について

<接種の概要>

区分	概要
(1) 対象者	2回目接種から6か月を経過した、さいたま市に住民登録のある12歳以上17歳以下の方
(2) 接種券	4月5日(火)から送付 初回は令和3年9月30日までに2回目接種済みの方に発送以降も、2回目接種から6か月を経過したら届くよう毎週火曜日に順次発送し、届き次第、予約手続きが可能
(3) 接種体制	市内の一部個別接種実施医療機関で実施 4月27日から5月8日までは、12歳以上17歳以下の方専用の集団接種会場を浦和コルソに開設

【教育委員会事務局】コミュニティ・スクールを全校実施します

教育委員会では、地域と一体となって未来を担う子どもたちをはぐくむ「コミュニティ・スクール」を令和4年度に全校実施し、「地域とともにある学校づくり」を一層推進します。



※ 子どもたちが地域の中で健やかにたくまれる環境づくりを推進する活動。

「学校を核とした地域づくり」に向け、市民周知を積極的に図り、学校運営への参画意識を高めることで、地域コミュニティの一層の活性化を図っていきます。

所管：教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課

次回 令和4年度 第2回行政会議

令和4年5月9日(月)
午前10時00分～

